

3 3. 石見の道づくり ～「広がり」自力と活力 交流島根県～環日本海時代を支える山陰道

山陰道

山陰道とは？

■事業の意義

東西間、隣接県、山陽・四国との時間距離の短縮や、高速道路インターチェンジや空港、港湾へのアクセスの強化を図ることにより、地域間の連携強化及び交流の推進を目的としています。

また、災害に強い国づくりを推進し、更に活力ある地域社会を形成するために、地域の自立的発展を支援する視点からも重要な路線です。



山陰道

県内L=約190km 全区間L=約380km



島根県東西移動の現状

■2時間での移動距離比較

東西方向の移動を比較したとき、高速道路の整備が進んでいる山陽側に比べ、現状の石見地域では多くの移動時間が必要です。浜田に至っては、県庁所在地の松江に行くのにも約2時間半を要します。

●実延長

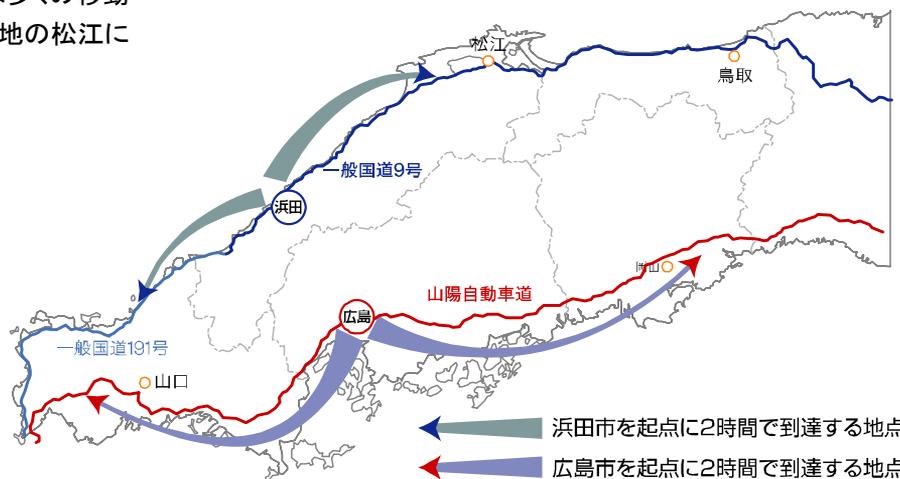
道路総延長から重要延長、未供用延長および渡船延長を除いた延長。

●改良済延長

旧道路構造令、道路構造令の規定に適合する実延長。

●混雑度

道路整備5箇年計画の策定や道路隘路区間の抽出、道路改良事業の必要性の判断のための指標。実際に通過した交通量の交通容量に対する比率のこと。混雑度1.0とは交通量が道路の交通容量に等しい状態であり、混雑度1.0以上の区間を混雑区間。



資料：道路時刻表2007～2008

3 3. 石見の道づくり ～「広がり」自力と活力 交流島根県～環日本海時代を支える山陰道

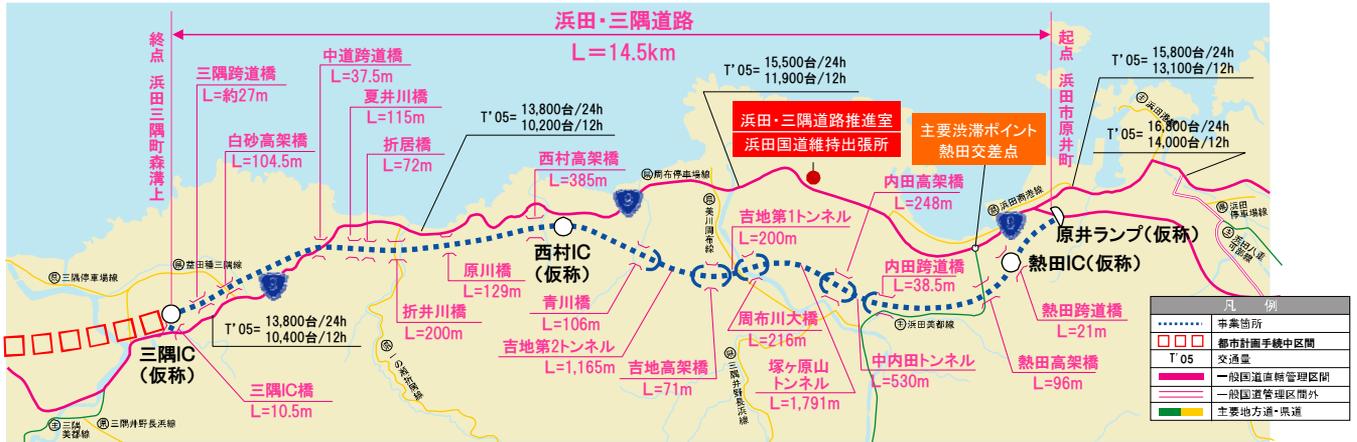
一般国道9号 浜田・三隅道路

道路事業の概要

■事業の目的

一般国道9号 浜田・三隅道路は、急勾配でカーブが連続する国道9号(浜田市原井町～浜田市三隅町間)の問題を解消し、緊急時の代替ルートを確保します。

■路線図



■現状の問題点



熱田地内での早朝の渋滞



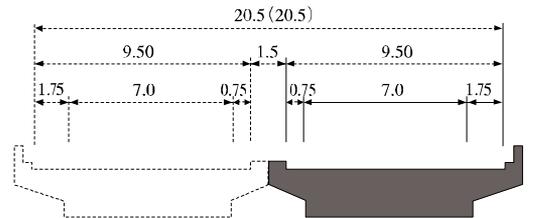
災害時の代替道路の必要性

■計画概要

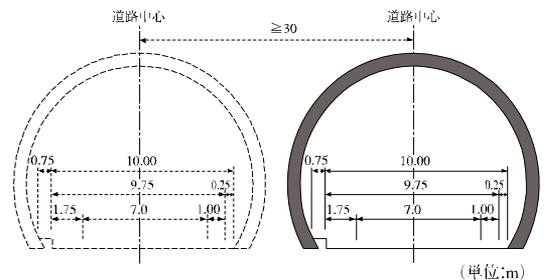
起 点	浜田市原井町
終 点	浜田市三隅町森溝上
延 長	約 14.5km
目 的	安全で快適な交通の確保 山陰道として当面活用
整備効果	一般国道9号浜田道路と連結し浜田地方生活圏の骨格を形成
経 過	平成16年3月30日に都市計画決定 平成16年度事業化 平成16年度用地買収着手 平成17年度工事着手

※(注) □□□□は実際のルートを示すものではありません

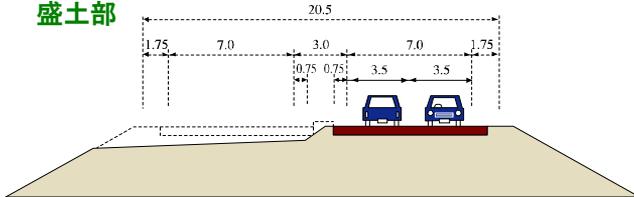
橋梁部(長大橋)



トンネル部



盛土部



今年度の事業

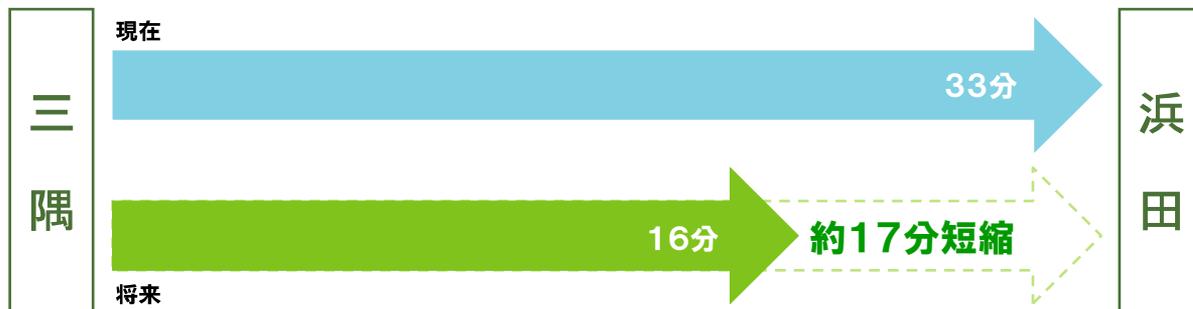
平成21年度は、調査設計・用地買収及び、塚ヶ原山トンネル工事、吉地第2トンネル工事等を推進いたします。



期待される整備効果

■約17分時間短縮効果

浜田ー三隅間は浜田以西の重要な山陰道の一部であり、この区間のみを見ても、約17分もの時間短縮効果が得られます。



現在はH17道路交通センサス混雑時旅行速度、将来は規制速度(浜田・三隅道路80km/h,浜田道路60km/h)で算出

■大規模災害時の代替道路の必要性

昭和58年豪雨災害では国道9号146ヶ所被災し、一般車両は17日間通行止め。当時はまだ中国横断自動車道広島浜田線(浜田自動車)はなく、江津益田間は100km以上の迂回となりました。山陰道が未整備であるために、大きな迂回が必要となっているため、代替道路としての機能確保としても、浜田三隅道路は重要です。

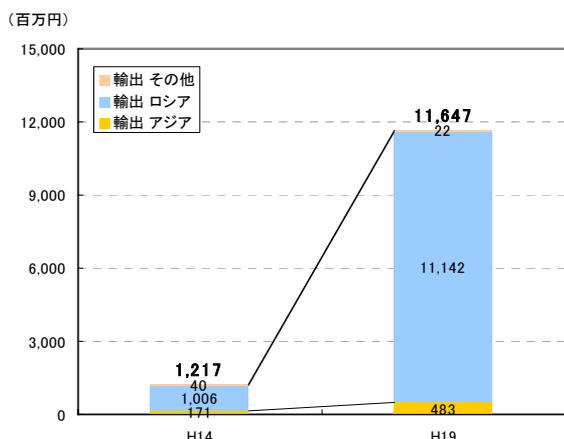


■空港や港湾との連携で経済活性につながります

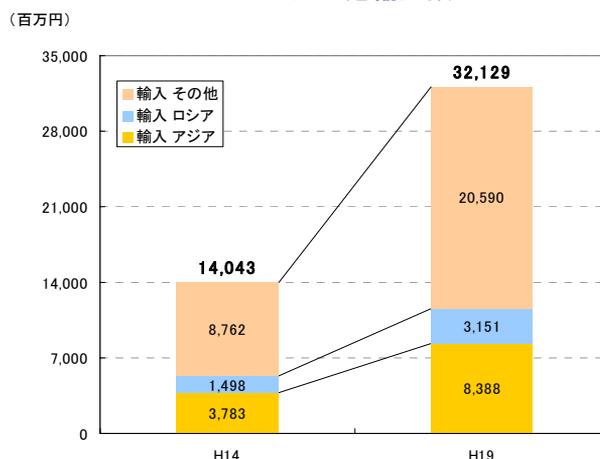
浜田・三隅道路の開通では高速度へのアクセス利便性も高まる事となり、物流の効率化が図られ、産業活性化の支援に繋がります。

山陰道と萩・石見空港や、浜田港との連携が実現すれば、東アジア諸国との連携や、隣県との人流・物流共に増大し、緊密な旅客・輸送ネットワークを形成することができます。

浜田港輸出額



浜田港輸入額



出典：鳥川県貿易概況調査報告書(2002,2007)

3 3. 石見の道づくり ～「広がり」自力と活力 交流島根県～環日本海時代を支える山陰道

一般国道9号 益田道路

事業の概要

■事業の目的

一般国道9号 益田道路は現道の交通混雑の緩和や災害時の代替路機能の確保、また、萩・石見空港へのアクセスが強化されることによる地域間の交流や市街地の活性化を推進することを目的とした自動車専用道路です。

■路線図

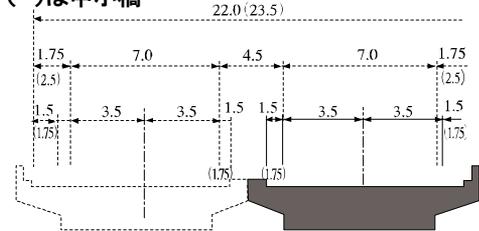


■計画概要

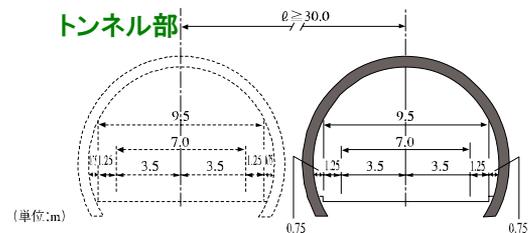
起 点	益田市遠田町
終 点	益田市須子町
延 長	7.8km
目 的	交通混雑の解消及び安全で快適な交通の確保 山陰道として当面活用
整備効果	交通拠点である萩・石見空港へのアクセス強化 定時性の確保及び広域・高速交通網の形成
経 過	平成8年度事業化 H10.3.27都市計画決定、H15.9.2都市計画変更 平成10年度用地買収 平成12年度工事着手 H19.3.24部分開通(高津IC～益田道路終点部:L=3.3km)

橋梁部(長大橋)

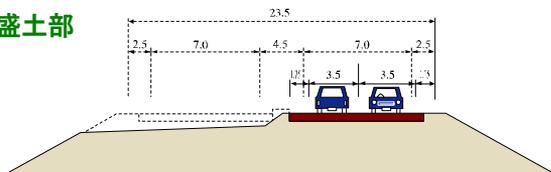
* ()は中小橋



トンネル部

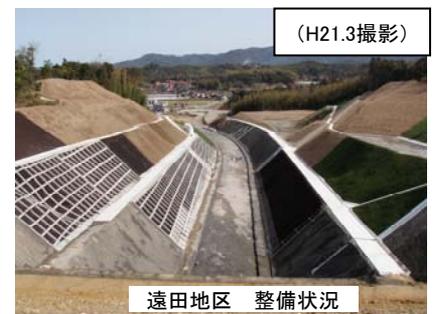


盛土部



今年度の事業

平成21年度は、益田市遠田～久城間の改良工事等を推進し、遠田～久城間L=1.7km(2/4車線)及び、県道久城インター線L=0.9kmと併せ開通を図ります。

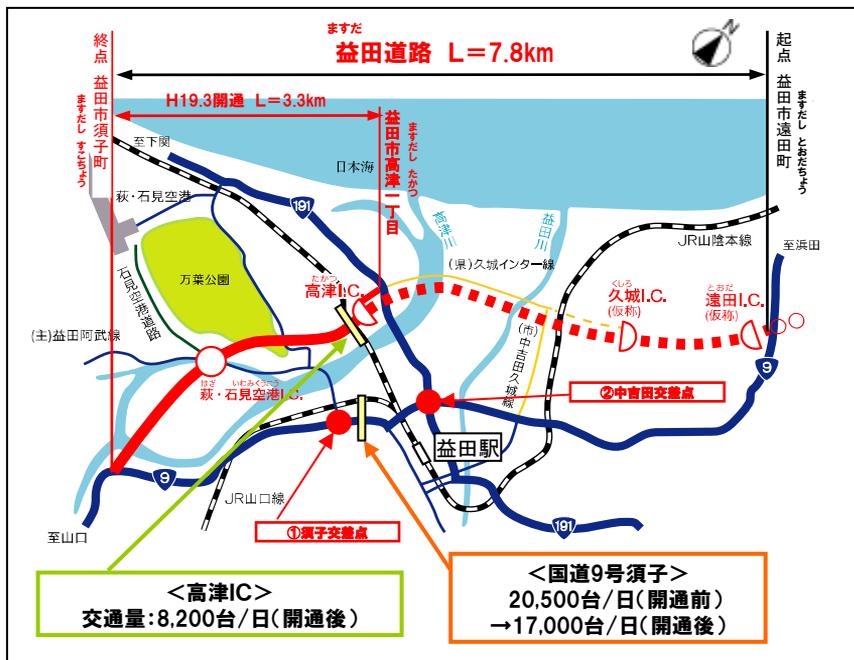


益田道路(高津IC~角井大橋西詰交差点)の開通による整備効果

益田道路(高津IC~角井大橋西詰交差点:L=3.3km)の開通により、さまざまな整備効果が得られました。

【整備効果】

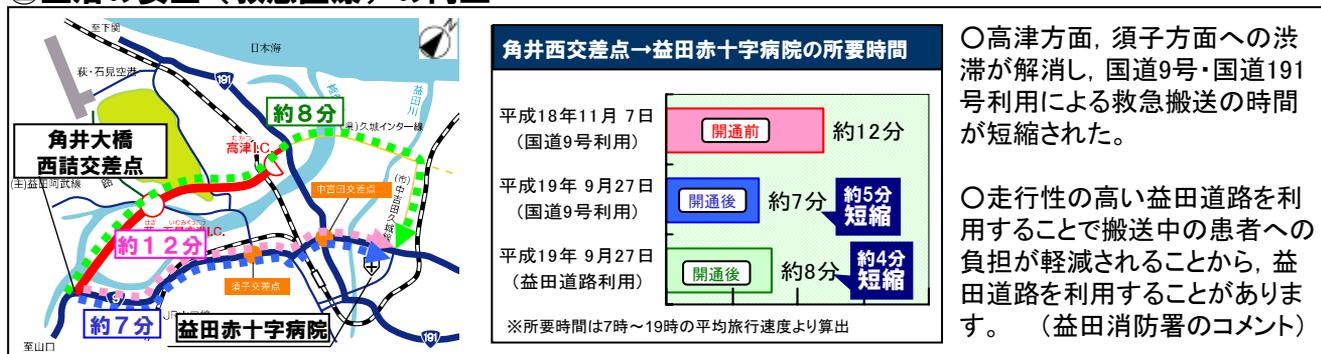
- ・国道9号の交通が益田道路に**約2割転換**。
- ・主要渋滞ポイントの**中吉田交差点**及び**須子交差点**の渋滞が解消。
- ・医療施設への救急搬送に**貢献**。
- ・萩・石見空港と益田駅までの**アクセス性が向上**。



①渋滞の解消



②生活の安全(救急医療)の向上



③萩・石見空港と益田駅までのアクセス性が向上

